

本資料には、ICT 活用指導力向上地区研修会の受講者が演習担当者となり、各学校で伝達講習を進められることができるように、「1 演習の概要」と「2 参考シナリオ」が掲載されています。

また、研修内容は主にタブレット端末（以下「タブレット」とする）の基本機能を使った演習となっておりますが、別途学習支援システムを活用している学校においては、各校の学習支援システムに合わせてより効果的な活用も考えられます。各学校の実態に合わせて活用してください。

なお、本資料を含め、アウトライン指導案、資料等は、**8月中旬から県総合学校教育センターのホームページ上からダウンロード**できます。

## 1 演習の概要

	受講者	運営者等  演習担当者
<b>演習 1</b> グループ内模擬授業 ↓ 加除・修正	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 演習の内容・手順の確認をする。</li> <li>● 各授業場面のプログラムについて、アウトラインを示した指導案を基に、グループ内模擬授業を通して指導案を加除・修正する。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #0056b3; color: white; text-align: center;">プログラム A</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #0056b3; color: white; text-align: center;">プログラム B</div> </div> <p>※指導案は全て略案</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">グループ内 模擬授業</div> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #92d050; text-align: center;">アウトライン指導案 ワークシート</div> <div style="margin: 5px;">⇕</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">修正指導案</div> <div style="margin: 5px;">⇕</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">最終指導案</div> </div> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">演習の内容・手順について説明</div> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center; margin-bottom: 10px;"> <div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px 10px; margin-right: 5px;">プログラム A B</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center; margin-bottom: 10px;"> <div style="background-color: #92d050; padding: 5px 10px; margin-right: 5px;">アウトライン指導案</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center; margin-bottom: 10px;"> <div style="background-color: #92d050; padding: 5px 10px; margin-right: 5px;">アウトライン指導案ワークシート</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 演習 1 の進行・グループの見取り・支援</div>
	<b>演習 2</b> 全体模擬授業	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 最終指導案をもとにグループ代表が先生役となり、全体で模擬授業を行う。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 10px;"> <div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px 10px;">プログラム A</div> <div>模擬授業（15分）</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 10px;"> <div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px 10px;">プログラム B</div> <div>模擬授業（15分）</div> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>● グループでリフレクションを行う。</li> </ul>

## 2 参考シナリオ（※学校の実態に応じて内容等を変更して活用してください。）



演習担当者シナリオ ○発言 ●支援



### 演習の内容・手順について説明

- 本日の研修は、タブレットの基本機能を使いながら、どのように授業に生かしていくのかを、模擬授業を通して先生方が協議しながら、タブレットの授業への活用について体験的に考えていく内容となっています。**演習1と2**の進め方について大まかな流れを説明します。
- 演習1**では、こちらで準備した授業台本となる「アウトライン指導案」をもとに、グループ内での模擬授業・協議のサイクルを繰り返していく中で、指導案の完成を目指します。
- グループ内で、まず、先生役・児童生徒役を決めて「アウトライン指導案」にそって10分程度の模擬授業をしてみます。
- そのあと、教師の指示や発問等で気付いたことをグループ内で協議し「アウトライン指導案」の空いているスペースに書き込んで、よりよい授業台本を作成していただきます。
- 協議のポイントは、授業の流れや扱う教材といった指導案の構成について検討するのではなく、タブレットを使った授業において、「どんな指示が必要となるのか。」「どんな発問が有効なのか。」などについて、気付いたことを意見として出し合うこととなります。
- 例えば、「アウトライン指導案には『動画を見てみましょう。』と書いているが、漠然と見させるのではなく、ねらいと関連付けた指示が必要なのではないか。」「『どこに気を付けて見ればよいですか。』と、視点について子供に気付かせるような発問が必要ではないか。」など、特に児童・生徒役となった先生方は、子供目線になって気付いたことを意見として出し合います。
- 協議したあとは、修正した指導案をもとに先生役を交代して再び模擬授業を行い、時間内にこのサイクルを繰り返しながらグループで1つの「**最終指導案**」を完成させていきます。
- 演習2**では、**演習1**で作成した「**最終指導案**」をもとに、A・B各グループの代表者が先生役となり教科部会全体で模擬授業を行い、各授業場面を共有します。ですから、**演習1**が終わるまでに、各グループでどなたが代表者として先生役となるかを決めておいてください。  
（なお「**最終指導案**」は提出していただきます。）※実態に応じて
- 最後に、A・B各グループでリフレクションをして終わりとなります。  
以上、本日の**演習1・2**の流れとなります。
- それでは、次に本日の演習のA・B各グループのメンバーを確認します。  
（学校の実態に対応した表現にする。）
- 次にタブレットの確認をします。
  - ・暗証番号は○○○○○○○となっています。
  - ・本日使うデータは、○○○○○○○に保存しています。等  
（学校の実態に対応した表現にする。）



## 演習 1 の進行・グループの見取り・支援

### 【グループでの模擬授業】

- これから**演習 1**を始めます。  
まず、各グループに配布したアウトライン指導案を読んで、3分程度で授業の概要をつかんでください。模擬授業を行う場面は太枠内となります。それではお願いします。  
**3分程度**
- 次に、（1分程度で）各グループで先生役となる順番を決めてください。
- それでは、アウトライン指導案をもとに模擬授業をしてみましょう。時間は10分間です。始めてください。  
**10分程度**
- はい。途中でも構いませんので、そこで終わってください。模擬授業を通して気付いたことを、グループで意見交換しながらアウトライン指導案の空いているスペースに教師の指示や発問、留意点、児童生徒の反応等を書き込んでください。  
**10分程度**
- 話し合いを終わってください。それでは、話合ったところまでで構わないので、先生役を交代して、2回目の模擬授業を、加筆した指導案にそってやってみましょう。では、始めてください。  
**10分程度**
- 先生方の活動を見取り、操作等で困っている先生方に支援する。
- はい。終わって下さい。  
また、模擬授業を通して気付いたことを、グループで意見交換します。  
このように、先生役を交代しながら模擬授業と協議を繰り返し、「**最終指導案**」を作成して行ってください。
- 協議に多くの時間をとられないよう注意を促す。
- それでは、3回目の模擬授業をしてみましょう・・・・・・
- 時間となりました。**演習 2**では全体での模擬授業を行いますので、先生役となるグループの代表者を決めてください。



## 演習 2 の進行

### 【全体での模擬授業】

- それでは、**演習 2**を始めます。全体で模擬授業をし、授業場面の共有を図ります。  
Aグループから順番に模擬授業を進めていきます。
  - Aグループから先生役を1人お願いします。その他のAグループのみなさんは、児童生徒役であるBグループの先生方のサポートをお願いします。  
**15分程度**
  - Bグループから先生役を1人お願いします。その他のBグループのみなさんは、児童生徒役であるAグループの先生方のサポートをお願いします。  
**15分程度**
- (学校の実態に応じたグループ数、実施時間とする。)
- ありがとうございました。全てのグループの模擬授業が終わりました。それでは、グループで**演習 1**と**演習 2**を通してタブレットの授業場面への活用について感じたことをリフレクションしてください。  
(時間は7分程度とします。)  
**7分程度**



## 研修のまとめのコメント

(先生方の取組の様子やリフレクション等から、本日の演習の成果に触れたり、今後のICTの活用を促したりするような投げかけをする。)